

看護学原論

必修

開講年次：1年次前期

科目区分：講義

単位：1単位

講義時間：15時間

■**科目のねらい**：この授業においては、看護職・看護学の歴史的発展及び看護学の基本概念である「看護」「人間」「健康」「環境」について学習する。また、看護職と看護・看護理論の関係を学習し、学際的学問としての看護学の特徴及び看護職と看護学との関係を理解する。さらに、看護学生・看護職者の発達過程を理解し、看護学の学習に伴う自己の課題と目標を確認する。

■**到達目標**：①看護・看護職・看護学の起源と歴史、現代社会における看護職の役割と機能について理解する。
②看護学の基本概念である「看護」「人間」「健康」「環境」の概要を理解し、その相互の関連性について考察する。
③看護理論・看護過程の意義と機能について理解し、看護職が看護理論・看護過程を活用する意義を確認する。
④看護学生・看護職者の発達過程を理解し、看護学の学習に伴う自己の課題と目標を確認する。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎定廣 和香子・猪股 千代子

■**授業計画・内容**：

- 第1回 看護学を学ぶ意味と意義
- 第2回 看護・看護職の起源
- 第3回 看護職の役割と機能
- 第4回 看護学の基本概念①
- 第5回 看護学の基本概念②
- 第6回 看護実践を支える問題解決的アプローチ：看護過程
- 第7回 看護実践の特徴と看護職者の発達
- 第8回 統合・試験オリエンテーション

■**教科書**：フロレンス・ナイチンゲール著 湯楨ます他訳：看護覚え書 改訂第7版、現代社、2011
ヴァージニア・ヘンダーソン著 湯楨ます・小玉香津子訳：看護の基本となるもの 新装版 日本看護協会出版会、2006

■**参考文献**：

■**成績評価基準と方法**：

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験	◎	◎	◎	到達目標の達成度	100%
出席				2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：看護理論・看護過程論

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：この授業では、「看護とは」「看護学とは」など看護学を学びはじめる皆さんにとって最も基本的な内容を取り扱います。授業に対して積極的に参加し、疑問に思った点、わかったこと、わかりにくかったことなど、意見を述べてください。皆さんの意見も反映して授業を創ります。